

京都工芸繊維大学における文献画像伝送システムの実際

- 小さな大学の例 -

0 . はじめに

京都工芸繊維大学.....工芸学部と繊維学部の2学部

奉仕対象.....学生 4,463人

教職員 974人

導入システム.....EPICWIN

利用統計

	送信件数	受信件数	計
13年度	8	18	26
14年度	1	3	4
15年度(11月末現在)	12	17	29
計	21	38	59

1 . 文献画像伝送の主なメリット

時間

省力化

費用の節約

画質

2 . 文献画像伝送システムのネットワーク接続上の留意点

ファイル転送 (FTP)

ネットワーク環境セキュリティとの関連。

Firewall 環境における送受信に使用する「ポート番号」は画像伝送システム (Ariel, EPICWIN 等) やそのバージョンにより異なるため, 詳細を確認の上, ネットワーク管理部署との調整が必要。

- EPICWIN の場合

「コニカミノルタビジネスソリューションズ株式会社」(当時は「ミノルタ販売株式会社」) からの案内による

- Ariel の場合

設定等に関する詳細は, 以下のホームページに記載あり

・ Ariel Homepage

→ <http://www.infotrieve.com/ariel/index.html>

・ Ariel Information Center

→ <http://www.infotrieve.com/ariel/ricari.html>

電子メール添付

送受信容量の制限との関連。

本学.....2.5Mb

3 . 上向きスキャナの活用

貴重資料 , 劣化資料 , 厚みのある資料等の複写

大量の複写

4 . ? から ! へ